

提供日 2024/5/16

タイトル 木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-O」の令和5年度実績

担当 暮らし・環境部 建築住宅局 建築安全推進課

連絡先 建築耐震班 TEL 054-221-3076



木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-O」の令和5年度実績

1 要旨

静岡県耐震改修促進計画（第3期・令和3年度～7年度）に基づき、市町と連携し、木造住宅の耐震化を推進している。

令和5年度の木造住宅の耐震診断助成実績は3,107件、耐震補強助成実績は698件で、耐震補強助成における事業開始（平成14年度）からの実績累計は26,516件となった。

2 過去5か年のプロジェクト「TOUKAI-O」の実績 （単位：件）

事業名		R1	R2	R3	R4	R5	対前年度増減比	実績累計
木造住宅	耐震診断助成事業 (H13～)	1,709	1,603	1,707	2,497	3,107	24.4%	93,388
	耐震補強助成事業 (H14～)	779	730	574	640	698	9.2%	26,516
	建替・除却助成事業 (H18～)	117	122	160	133	129	△3.0%	859

3 令和5年度の分析

- 耐震診断助成事業は、事業の総仕上げとして周知啓発を強化した効果及び令和6年能登半島地震の被害による防災意識の向上等により前年度から24.4%の増となり、平成23年度以来12年ぶりに3千件を超えた。耐震補強助成事業は5年ぶりに増加した前年度を上回った。
- 建替・除却助成事業は、耐震化が必要な木造住宅の築年数が既に40年以上を経過していることから、耐震補強よりも建替えや除却を選択する方も増加しており、平成30年度に初めて100件を超え、以降ほぼ120件から160件の間で推移している。

4 今後の取組

- 木造住宅耐震化の総仕上げを図るため、計画期間の令和7年度までの残り2年間で耐震化に向けた周知を徹底して行う。今年度は、テレビCMの放映、新聞広告、戸別訪問、ダイレクトメールなど複数の手法による重層的な呼び掛けを実施する。特に高齢化率が高く耐震化が進んでいない賀茂地域は、戸別訪問への県職員の同行やダイレクトメールの優先配分など重点的に取組を実施する。
- 何らかの事情により耐震補強に踏み切れない世帯に対しては、耐震性がある住宅への住み替えや、防災ベッド又は耐震シェルターの設置など「命を守るための取組」の実施を呼び掛けていく。

<参考：静岡県耐震改修促進計画における住宅の耐震化目標（令和7年度末）>

耐震化率 95%（現状値 89.3%（平成30年10月現在※））

※耐震化率は5年ごとに実施する総務省調査「住宅・土地統計調査」の結果をもとに推計

参加者募集告知

催事等の当日取材

実施事業等の紹介

調査結果の公表